

各地域の評価結果

米代川流域エリア

(1) 事業概要

- 地方自治体：秋田県
- 課題：「秋田スギが持つ多様な可能性の発見及び産学連携基盤の確立」
- 中核機関：財団法人 秋田県木材加工推進機構
- 核となる研究機関：秋田県立大学(木材高度加工研究所、生物資源科学部、システム科学技術部)、秋田大学(工学資源学部)
- 概要：本事業では、米代川流域エリアの知的中核機関である秋田県立大学木材高度加工研究所及び参加研究機関の研究成果を、地域に集積する木材関連企業(育林、素材生産、製材、集成材、合板、住宅建築、廃棄物及びエネルギー利用など)に対し、迅速かつ効率的に移転するための連携ネットワーク基盤を整備する。また、本事業で構築されるネットワークを活用して、企業ニーズを反映させた研究体制づくりを推進する。
さらに、木材関連産業全体として、資源利用率の向上、マーケティング及び市場動向にマッチした商品開発、化石エネルギー使用量の低減を図り、秋田スギを主原料としたゼロエミッション型木材関連産業の形成を目指す。

(2) 評価

本地域では、秋田スギが持つ多様な可能性の発見及び産学連携基盤を確立するために、可能性試験と3つの研究会活動(木造建築研究会、森林資源研究会、水環境研究会)を中心に本事業を推進してきており、事業計画として概ね適切であったと思われる。また、最終年度に事業推進体制の強化や可能性試験実施方法の見直しを行っており、適切な事業運営が行われたものとして、評価できる。

事業推進の核となった研究会活動においては、財団法人秋田県木材加工推進機構や秋田県立大学木材高度加工研究所が中心となって、産業界をはじめ、関係市町村や地域住民も取り込んだ活動を実施しており、本事業提案時に掲げた達成目標である「産学官連携ネットワーク体制の構築」については、ほぼ達成されていると評価できる。

研究開発については、地域企業のニーズを取り込んだ可能性試験を16課題実施し、事業化に繋がることが期待される4つの試作品を創出した点等は、ある程度評価できる。今後は、戦略的に知的財産を確保していくと共に、可能性試験で得られた成果について、研究開発のスピードを加速することにより、早期の事業化を達成することが望まれる。また、関連技術の高度化に関する取組を更に推進すると共に、技術移転を促す取組を行うことが望ましい。

地域の取組としては、秋田県において、「戦略的共同研究プロジェクト推進事業」を立ち上げ、秋田県立大学木材高度加工研究所による「木質系廃材の有効利用に関する技術開

発」を実施したことや、秋田スギを活用した木材関連産業の活性化等のため産業経済労働部内に「秋田スギ活用促進チーム」を組織したこと等、本事業と連動した取組がなされており、秋田スギ等を活用した地域経済の活性化へ向けた地域の前向きな姿勢が見られた点は評価できる。

今後の取組として、連携基盤整備型で創設された事業推進委員会に、政策提言・シンクタンクとしての機能を付加することや、研究会活動の拡大強化が計画されており、継続的な地域の取組も概ね期待できる。一方、秋田スギ等を活用した地域経済の活性化のためには、外材に対抗する具体的な事業化戦略を構築すると共に、輸出も視野に入れた海外向け製品を開発していくことも望まれる。

(3) 項目別評価結果

1. 目標達成度		A
2. 事業計画		A
3. 事業成果	(1) 連携基盤の構築	A
	(2) 研究開発の成果	B
4. 地域の取組	(1) これまでの取組	A
	(2) 持続性・自立性	B